



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R4 CS通信No.13 R4.11.16



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

全校苔玉づくり(西海小)・中学生アイデア会議(鯨ヶ沢中)・ミシン学習(舞戸小)

10月25日(火)西海小学校で、全校苔玉づくりがありました。始めに、講師の櫻庭るみ子先生(花屋さん)から苔玉の作り方の説明がありました。

子どもたちは、初めての苔玉づくりに興味を持ち、講師の先生の説明を一生懸命聞いていました。

今回の苔玉づくりには、11名の学校支援ボランティアと6名の保護者の方々が協力しました。

ボランティアの皆さんは、初めて苔玉を作る方が多く、楽しみにして学校に来たということでした。苔玉づくりでは、子どもたちのそばに寄り添って、うまくできるように支援していました。

最後に児童代表が、

「今日は丁寧に教えてくれてありがとうございました。糸をまくところは難しかったけど楽しかったです。お手伝いしてくれた皆さんもありがとうございました。」

と、立派にお礼のあいさつをしました。



10月26日(水)鯨ヶ沢中学校第3学年生徒が、中学生アイデア会議を行いました。

この会議は、以前に比べて旧庁舎のある本町エリアのにぎわいがなくなりつつあるので、本町エリアの将来像を生み出すために、中学生のアイデアと想いを集める目的で開催されました。

生徒は、4人ずつのグループに分かれ、役場職員が1人ずつグループに入り、話し合いました。

生徒が自分の考えたことを発表する時間が多くあり、グループ内では必ず発言できるので、たいへん有意義な時間となりました。

また、友だちの発表に対して拍手が出るほど話し合いは盛り上がりました。

中学生のアイデアで注目されたのは、海の見える結婚式場、釣った魚を料理して食べる施設、こども園を活用した歴史資料館、水族館のあるカフェ、海を活用したアスレチック施設等でした。



舞戸小学校第6学年では、学習支援ボランティアの協力を得たミシン学習がありました。

ミシン学習を担当の先生が一人で行うと、トラブルが発生した時に、すぐに対応することが難しいのですが、学習支援ボランティアがいるとすぐに対応することができます。それに、分担して指導できるので、並んで待つ必要もありません。

ボランティアの方々に話を聞いてみると、「子どもたちと一緒に学習して楽しかった。」「縫うところに線を引く等、几帳面な子が多い。」と、話していました。

子どもたちの方も、効率的に作業を進めることができたので、満足のいく学習だったようです。

